



# 自立貢献

第5号

発行日2019. 12. 13

杉並区立和田中学校

## 「人の役に立つ仕事・人を笑顔にする仕事」

校長 田口 克敏

前号で「面接練習の時期を迎えて」をテーマに書きましたが、今号では面接練習を通じて考えたことに触れます。

面接練習も中盤に差し掛かりました。この面接時に少なくない3年生からやや気になるフレーズとして表題の言葉が出てきます。この言葉に対する私からの問いは「将来就きたい職業や夢は何ですか？」というものです。ありきたりの問いですが、何人もの人から「まだこれといって決まっていませんが、人の役に立つ仕事、人を笑顔にする仕事に就きたいです。」という答えが返ってきます。はじめのうちは「殊勝な考え方だなあ」と感心して聴いていましたが、何人か続くと「和田中生は、学校目標(「自立貢献」)が浸透しているんだ」とも考えるようになりました。しかし「どうも変だな」と考え、注意深く聞いていくと「面接対策マニュアル」などの影響があるのではないかと、思うに至りました。

「人の役に立つ仕事、人を笑顔にする仕事に就きたい」という考え方が本人の真実であれば、それはとても結構なことだと考えます。真実であれば、その裏付けとしての考え方や思いは、次に繰り出される質問にも適切に答えることができると思います。ところがマニュアルを鵜呑みにした対応では、具体的に掘り下げた問いには答えきれなくなったり、抽象的な回答になったりしてしまいます。私はそこを見極めたいと考え質問を重ねます。その理由は何か、と問われれば、それは中学生段階で、自分自身でも深く考えているわけでもなく、言葉の意味を理解しているわけでもないのに、マニュアルに則った対応で面接という局面をすり抜けてしまうような手法を学ばせたくない、ということになります。近年は、社会全体の中で「How to本」「攻略本」があふれとても便利です。その厄介になることは大なり小なり誰にでもあります。中学生にとって「面接」という、おそらくその人生で初めての体験を前に、どのようにしたら良いのかを考え、少しでもうまくいく方法を見出したい、という健気な気持ちは十分に理解できます。しかし「自分事」については「自分の言葉」で語ってくれた方が、稚拙でも詰まっても想いは伝わりやすいと考えます。

思春期を迎えた中学生は、その発達段階において「自分と向き合う」という場面を乗り越えていかなければなりません。学校で教育に携わる我々教員は、その手伝いをする立場にあります。つまり、面接で言えば「自分は何を求めてその学校に進もうと考えるのか」「今の段階で描く将来の夢は一体何なのか」などを本人が真剣に考えられるようなきっかけを与えることです。人から問われ改めて考えてみると、きちんと考えていなかった自分や自分でも気づかなかった自分を発見することはままあることです。分かってもいないことを分かっているように振舞い、それでうまくいった体験を通して「世の中こんなもんか」「こんな程度でもうまくいくのか」といったことを中学生にはまだ「学習」してほしくないと思います。中学生の時期は「自分づくり」の途上にあります。愚直でも一所懸命頑張ること、表現は下手でも想いを伝える方法など、この段階でその基礎を身に付けなければチャンスを失ってしまう大切なことがたくさんあると思うのです。そんなことを考えながら、今日も面接練習に臨みます。

もじこって何ですか？

何人かの人に聞かれました。以前の学校便りでもふれました。もう一度お知らせします。人が成長する過程の中で、まず、物の管理ができるようになるそうです。自分で使ったおもちゃを片付ける、食卓の準備のお手伝いする、脱いだ洋服を洗濯かごに入れる、といったことができるようになります。小さい頃の記憶をたどってみて下さい。できたと褒められた記憶はないですか？そして、物の管理ができて初めて、時間の管理ができるようになります。朝は7時に家を出て学校に向かう、必ず5時には家に帰る、あと5分でゲームを終える(これは今出来るかな?)、時間が管理できると、今こで何をするのか、何をする必要があるのかを考えて行動できるようになるのだとか。朝、登校するまでに、起きてから、歯を磨いて、朝ご飯を食べ、洋服を着替えて、7時半に家を出ると間に合うから、6時に起きよう、と逆算して行動できるようにするそうです。そして、実はもう一つが「まで続きます。それは、感情の管理です。自分の行動を管理出来て初めて、感情のコントロールが出来るようになる。電車の中で、小さな子がぐずるのには小さい子ならではの理由があったのです。では、なんで今もじこなの？でしょう。か。どうしても集団になると生活の中で、自分の物、他の人の物、全員で使う物の管理が曖昧になって来て、時間にもルーズになり、行動も無責任になってくる。思い当たる節はありませんか？もう一度、もじこを考えてみて下さい。

副校長 平沢富美江

## プレプレ？スピーキングテストを実施しました！



イヤーマフを着けて、自分の声を聴きながら答えています。

### 例題

1 次の英文を声を出して読みましょう。

I am looking for

Santa Claus

令和3年度より、実施予定の東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）のプレテストが、11月26日（火）行われました。今年度は、東京都内の全市区町村から1校が選ばれ、約8,000名の中学生が受検しました。本校は、杉並区の代表校として、実施しました。全国学力テストでも、今年度はスピーキングテストが行われました。その際、「他の人の声が聞こえてしまう」「他の人の声もマイクが拾ってしまう」という課題が見つかったこともあり、周囲の音が聞こえないように工夫がされていました。が、普通教室では前後の席が近いせいか、「後ろの人の声が聞こえてしまった」とアンケートに記入していた人もました。来年度は、都内の中学3年生（現2年生）が、秋（9月～10月）に学校で全員が実施する予定です。

現3年生の実施状況やアンケートなどを基に、準備が進められます。また、今回受検した8,000名の結果を受けて、授業での指導方法などの改善にも活用されます。実際の入試に、どのように採用されるのか、まだ分からない点が多くあります。3年生の頑張りが、良い意味で反映されることを期待しています。



スピーキングテストに挑戦！

## 最近ちょっと気になること



職員室前に掲示した和田中ネットあるある投票。

期末考査後に「いじめアンケート」を実施しました。その中で、ちょっと気になることが各学年で出てきました。01何回も続けて悪口を言われていますか。の項目で「ある」「答えたくない」の項目を選んだ人がいたことです。一人ひとりに確認をしました。自分で解決できていることを含めて、嫌な思いをしている人がいることは事実です。自分では相手を傷つけている気持ちはなくとも、何の気なしに発した言葉が相手を傷つけていることがあることを再認識しなければなりません。また、周囲の目、声かけも大切です。お互いに過ごしやすい関係をどう築いて行く必要があるのか、道徳

や学活などで考える機会を持っていきます。また、SNSのトラブルも起きています。自分が嫌な思いをしたからと、そのまま安易にSNSにその思いを画像や言葉として乗せてしまうことが、大きなトラブルにつながっています。SNSは便利なツールです。が、扱いによっては取り返しがつかなくなります。杉並区内でも大きな犯罪に結びついた例もあります。「東京SNSルール」の取組や、よのなか科の授業でも学習しました。ご家庭でも、もう一度、スマートフォンの使い方を含め、SNS等についても確認をお願いします。

2年生が実施したP+検定では、「情報モラル・セキュリティ」の課題で、「実生活で遭遇する可能性がある場面で、自分事として思考力・判断力を求める能力」において高いレベルの判断力を持つ生徒が多いという結果が出ました。その能力を実践に活かすためにも、2月13日（木）にSNSに関する授業を予定しています。

※1年生は12月に、3年生は3月にP+検定を行います。



## 学校の環境を守ってくださっているのは…

先週から今週にかけて、午後の時間に行われていた三者面談。掃除を済ませての下校です。が、いつもより時間に追われているのか、放課後、階段や廊下のゴミが気になりました。その時、階段の上の階から、自在箒でゴミを掃く音がしてきました。学校内の環境美化に努めて下さっているのは、用務主事の高橋さん、吉岡さん、平塚さんです。お話を伺いました。

Q お仕事をする上で心がけていることは？  
A 生徒さんが安心して安全に学校生活を送れるように、環境を整えることを一番考えています。(ありがとうございます。グラウンドの隅までも、いつも整備をありがとうございます。)

Q 最近、気になることは？  
A ゴミの分別をお願いします。(全クラスから集まったゴミも最終的に用務主事の皆さんが小さなゴミまで、手作業で仕分けして下さい

います。職員室も気をつけます！) チョークの粉をそのままゴミ箱に入れてくるクラスもありますが、粉が舞って衛生上良くないので、袋に入れたり、紙に包んだりすると良いですよ。

Q 生徒へ一言お願いします。  
A もっと気軽に声をかけ下さい。もし、学校内で気になることがあったら、教えて下さい。色々お話しできると良いですね。

ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



高橋さん 吉岡さん 平塚さん



降りきる？中庭の落ち葉

Before



落ち葉だけで何袋も…

After

## 12月8日(日)杉並区中学校対抗駅伝大会



地域の皆さんもたくさん応援に来て下さいました。1・2年生の応援団、そして3年生、卒業生も駆けつけて熱い応援を送りました。

これぞ「和田中魂」



男子団体 第三位

抜けるような青空の下  
和田魂を遺憾なく発揮！

3年間かけて積み上げてきた男子チーム  
全学年で挑んだ女子チーム。そして、校庭や体育館で  
駅伝メンバーと一緒に走った駅伝プロジェクトに参加してくれた人、  
朝から済美山に駆けつけて、応援に声をからせたボランティアの皆さん。  
全員で走りきった今年の杉並区中学校駅伝大会は、心に残る会大会となりました。

※駅伝大会の様子は、1月19日(日) 17:00～ 1月20日(月) 12:20～ JCOMで放送されます。

## 学校運営協議会(CS委員)の皆さんから

今回から、毎号、学校運営協議会の委員の皆さんからのコメントを掲載します。本校では、会長の高木弘子さん、北澤五百子さん、熊耳徹さん、小森梨沙さん、藤枝宏友さん、加倉井美樹さん、松本司さん、保護者の会から新城朋子さんに協議委員をお願いしています。

10月9日ノーベル賞の発表がありました。日本の吉野 彰さんがノーベル化学賞に選ばれました。ノートパソコン・スマートフォンといった情報化社会を支える製品に欠かせないリチウムイオン電池の開発です。日本のノーベル賞受賞者は、27人目だそうで、化学賞では8人目となるそうです。

吉野 彰さんが化学に興味を抱いたのは、小学校4年次頃で当時の担任の先生が大学時代に化学を専攻していた関係もあって、あるとき「ロウソクの科学」の本を薦められたことが化学に興味を持つきっかけになったそうです。

## 全校よのなか科 土曜公開授業のお知らせ

令和2年1月11日(土)の土曜授業は、よのなか科の公開授業です。

1校時・2校時(8:45~10:35) 公開授業

※1年生は進路学習「職業・働き方を知る」

3校時 10:45~11:35

全校よのなか科

「世界の水問題を自分事として考えてみよう」

認定NPO法人ウォーターエイドジャパンの

杉山真里菜さんをお招きしてお話を頂きます。

また、「真の国際人として世界のためにできることは何か」についてグループワークを行います。

保護者・地域の皆さんも奮ってご参加ください。

## 第1回は藤枝さん



学校運営協議会とは、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させながら、校長のリーダーシップと明確な学校経営ビジョンのもと、校長と一体となって、もしくは校長を補佐しつつ、児童・生徒の健やかな育成とより良い教育の実現を目指します。

杉並区 パンフレットより

言われても聞き流すことが多い中で、吉野彰さんは、キッチリ受け止め、興味を持たれ、その後の研究に努力されたことは大変素晴らしいことだと思います。

子供達の個性を見出し、適切なアドバイスを与えることが如何に重要なことかを再確認させて頂きました。最近ある先生から耳にした話ですが、最近、自然科学に興味を持った先生が少なくなってきたことを聞かされました。その結果として自然科学に興味を抱く生徒が少なくなっているそうです。

ご協力頂ける方を探しています！

1年生は、社会で活躍されている皆さんにインタビューを通して、「働くこと」「生活すること」「社会の一員となること」などについて考えを深める機会としたいと考えています。その学びを深めて、現在の自分について、そして将来の自分の生き方につなげて考える学習を行います。できたら、保護者・地域の皆さんにインタビューを受けて頂きたいと考えています。別途お知らせでもお願いいたしました。もし、ご協力頂ける場合は、和田中学校までご連絡下さい。

よろしくお願い致します。